

平成30年度 第1回高岡の森弘前藩歴史館協議会会議録（要旨）

日時 平成30年12月10日（月） 午後2時開始 午後3時30分終了
場所 高岡の森弘前藩歴史館 映像・講話室
出席者 瀧本 壽史 委員長（議長） 島内 智秋 副委員長
小山 伸吉 委員 葛西 修造 委員
小嶋 義憲 委員 堀 智慧 委員 （6名）
欠席者 無し
事務局 館長 加藤裕敏 館長補佐 村元広美 主幹兼運営係長兼学芸員 鶴巻秀樹
（3名）

次 第

- 1 開会
 - 2 案件
 - （1）平成30年度事業経過報告について
 - （2）平成31年度事業計画について
 - （3）その他
 - 3 閉会
-

【協議会要旨】

議長 委員6名全員出席しており、会議は成立します。
（委員長） 案件の（1）平成30年度事業経過報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局 【資料に基づき説明】

議長 ご質問、ご意見ありませんか。

小嶋委員 寄贈資料3件の内容は。

事務局 1件は高照神社文化財維持保存会後援会からの刀剣・貴田家の資料等、1件は市内個人からの槍・津軽承祐の書等、もう1件は五所川原市の刀剣砥ぎ師からの刀剣研磨の工程を示す刀剣・砥石等です。

小山委員 歴史館の資料受け入れの定義は。

- 事務局** 歴史館の資料収集は、基本的には江戸時代を中心とした弘前藩、津軽家、藩士も含めて、それらに関わる資料が中心です。また、展示で活用可能なものも幅広く受け入れようと考えています。
以上の資料受け入れは市立博物館とも住み分けできると考えています。
ただ、収蔵庫のキャパシティは限られるため、保存する価値、展示に活用できるかという観点を基に選びます。
- 島内委員** 鑑定は。
- 事務局** 鑑定する機関は無いので、あくまでも担当の学芸員の判断です。
当館にとって価値があるかで判断します。いくら価値がある、国宝級であるなどの判断はできません。
- 小嶋委員** 受け入れを打診いただく中には良いものがあり、喪失しないようにしたいが、判断が非常に難しい。
- 議長** 例えば、目利きの先生と契約を結ぶとか。先生を選ぶにも客観的な判断が必要で難しい。
- 事務局** 資料購入については、基本的には古美術商からのものを購入することが多いです。ただ、地元で価値判断されている文化財指定の資料等は、市内に残すことが重要であるため購入を求められた場合は対応したい。
- 議長** 県立郷土館では購入検討委員会が判断します。ここでは、弘前藩と関係があるものが、資料収集の基本になると考えられます。
寄贈は、慎重に決めていただきたい。
- 堀委員** 収蔵環境は。
- 事務局** 収蔵室は2層で、1階の中に別の部屋があり、刀剣を集中的に収蔵しています。刀剣類は他のものと湿度管理が異なり、刀剣の部屋は湿度45%、他の部屋は55%で管理しています。壁面は災害等の電源喪失時にも調湿できるよう特殊材質の壁材にしています。
温度もおおむね20度前後で年間通して管理しています。
- 葛西委員** 町会では、草取りなどの維持に努めてきた。開館後、町会の人感じ方は、ずいぶん人が入っていて、前よりにぎやかになり、無関心ではられないと言っています。
また、交通量も多く、事故がなければと思っています。今後町会としてどのように歴史館と関わっていくか、良い関係を構築したいと考えています。
- 小嶋委員** 信号機の設置は、以前市に要望しています。
- 事務局** 警察と協議したが、当時の交通量では設置は難しいとのこと。歴史館がオープンし、状況が変わってきたので、要望があれば、再度警

察と協議できると思います。

議長

葛西委員の話は、歴史館の一番の持ち味であると思います。高照神社ができて、氏子の人たちが300年守ってきたこと自体がすごい文化といえます。

高岡集落の参道の景観が残らないと神社も残らないと思います。この集落・参道の維持は歴史館運営において切り離せないことだと思います。

小嶋委員

高岡の町名は弘前城の古い地名で、信政の命令でつけられた由緒ある地名です。建造物も含め、一直線に配置されていることが重要です。この神社は、土津神社を手本にして造っています。土津神社は社殿から一直線ですが、本殿までの途中で道路があり、本来の姿が失われています。私は、新しいバイパス道路から高岡町会に曲がる角に、大きな鳥居があればと思います。

小山委員

岩木山観光協会は、この辺の施設、神社仏閣すべてを紹介する係です。そのために、高岡の会議に一度出席したいと思っています。歴史館が独立した動きをしているだけでは周りとは共有できません。お手伝いしていただきたいこともでてくると思います。集落には古民家を再利用したカフェもあり、来週テレビにも出るそうです。そうすれば、高照神社にも人が来ます。それらの多くと関わり、その動きを把握していないといけません。後手に回ると何事もうまくいかないため事前に話し合いの場を設ける必要があります。

葛西委員

歴史館がオープンし、人は回ってきているのでありがたいと思っています。町会の人々の意識も変わってきていると思います。

議長

こういう話が出るのが、地域の博物館たる歴史館の宿命だと思います。町会の会議にも出て、情報交換をしていただければ良いと思います。

それでは、引き続き案件（2）平成31年度事業計画について、事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料に基づき説明】

議長

ご質問、ご意見等ありませんか。

堀委員

現在、刀剣が女子に人気で、全国的な刀剣ブームにもなり、栃木では、経済効果が4億円ということです。歴史館にある「友成」は、今後かなり注目されると思います。刀剣女子を、秋の刀剣展示の際に呼び込めたらと思います。

来年の「日本刀の美」展の時に、「友成」・「真守」は出しますか。

事務局

両方出す予定です。国の重要文化財であるため、展示は年に60日の制限があります。

年に1回、刀剣を中心とした展覧会は開催したく、時期を少しずつずら

しながらと考えています。「友成」の注目度に合わせてどう売り込むかが課題だと思います。今年の刀剣展も、刀剣女子といわれる方のネットワーク、SNSで情報拡散していただき、いままでにない客層に来ていただいたと感じています。

議長 確実に来ていただける人を捕まえるために、客足が落ち込む冬場に刀剣展と別な形で刀を使った展示とか、実際持たせるとか、確実に見込める人に来てもらえる企画を行う手はあります。

小嶋委員 刀は人が来ます。「友成」は毎年北海道からも見に来る人もいます。「江戸の旅と観光」展で、大名行列に関する展示ができないのかと思います。毛槍などを展示するとか。また、旧岩木町史には信政のものだとされる対槍が載っています。弘前に籠はありますか。

事務局 天守の中にありましたが、曳屋後に改めて展示しているかは不明です。年代ははっきりしないが、信義のものだと伝わっています。

小山委員 「お殿様たちの暮らし」展では、殿様の生活として食文化を紹介する必要がありますが、これは研究している人もいます。配膳の状態、殿様の食事の様子、下級武士ではどうだったとか、リアルな感じのものを紹介すると良いと思います。

小嶋委員 文化センターで再現した料理で「御献立」があり、写真を活用できればと思います。

葛西委員 高照神社から歴史館に入った宝物は立派なもので、町会の関わりが重要です。町会の人や、神社の雪下ろしや草刈りとか、当たり前にはやっていますが、大変な作業です。展示解説や案内または講座などで、高岡に300年受け継がれてきた墓守としての役目、そしてこれからも続けなければならないことを皆さんに知ってもらいたいと思います。町会の役割を話す機会とか、高岡を街歩きして、昔の絵図と比較するとか、高岡の人たちとの交流ができれば良いと思います。

小嶋委員 集落ができてからの家屋の配置図もあるかもしれません。

事務局 特に子供たちを案内する時は、高岡集落自体にそういう歴史があるということはお伝えするようにしています。歴史館だけでなく神社の方も見学するときには、神社の成り立ちに併せて、高岡集落の方々の苦労話を伝えるようにしています。来年の展示で光をあてたいと思っています。

葛西委員 我々にとって重荷になっている部分もありますが、高岡で生活していく者としての使命だと思います。歴史館が出来たおかげでモチベーションが上がってきたと思っているので、そういう方向で展示やイベントをやりたいと思っています。

- 議長** 展示だけでなく、例えば語り部とかも良いのではないのでしょうか。
- 島内委員** 活動を伝えることで、高岡の人だけでなく、弘前のすべての人の宝物として認識されると思います。小中学生や高校生に、例えば地域の人と一緒に草取りに参加してもらおうとか、その体験が自分たちの宝物になると思います。そのためには、多くの人に足を運んでもらい、活動を直接見る機会を増やしていければ良いと改めて思いました。
話は変わりますが、出前講座の内容は。
- 事務局** 市のホームページに要綱が載っています。
「信政と高照神社の宝物」という形で行う予定です。
- 島内委員** たか丸くんをベースにした歴史館独自のキャラクターをとということですが、親子鑑賞会の周知と併せて、小中高生にたか丸くんの新キャラクターの募集を行うのも良いと思います。
- 事務局** 歴史館にしかない独自のたか丸くんができればと考えました。
曳屋の時は工事バージョン、今年の桜祭りは着物を着ていたので、そのようなイメージで考えています。
たか丸くんの「たか」は「たかおか」からとっているのです、名前としてもたか丸くんのままでも良いかと思えます。
- 小山委員** 子供を取り込んでやるのが大事だと思います。
- 議長** 歴史館に来館した小中学校の中に岩木地区の小中学校が無いのが気になります。
- 事務局** 送迎は市のバスということで、市内の小中学校に申し入れはしたのですが結局2校でした。
岩木山総合運動公園での宿泊体験の途中で寄ってもらったのが2、3校ありましたが、やはり言われるのが交通手段の件です。学校で確保できないときは、歴史館で手配してでも来てもらいたいと思っています。
- 堀委員** 観光館のところにある山車展示館には、弘前藩時代の八幡宮の祭礼に関する展示を行っています。「お殿様たちの暮らし」展で、そのような「まつり」を紹介していただけたらと思います。山車展示館の展示品も30年くらい変わってないそうですが、他のところも協力して、知られていない歴史を知っていただきたいと思います。
- 事務局** 来年の展覧会に組み込めるか、検討したいと思います。
- 堀委員** キャラクターグッズについて、最近ミュージアムグッズが非常にはやっているのですが、ちょっとでもあったらいいと思います。私は「友成」に関わるものが良いと思います。
- 事務局** 市では、利益を得る販売ができません。市立博物館でもグッズの販売は

していますが、博物館後援会が作成して販売する形なので、今後歴史館の後援会について、検討していきたいと思います。

議長 後援会を組織して運営していくとすれば事務局の負担が大きくなります。メリットとデメリットを考慮しつつ検討していくとすれば、この協議会にも案を出してください。

小嶋委員 絵馬製作の体験というのも考えていただきたい。現在「あねっこ」でやっているものは、絵師を講師として年末に募集しています。歴史館には映像・講話室という場所もあるので、将来的に検討いただければと思います。

小山委員 信政の顔はどんな顔だったのか。

小嶋委員 一番近いのは、新井寒竹が描いた肖像画です。実は高照神社文化財維持保存会後援会に寄贈されたもので、信寿が信政を描いた肖像の写しがあります。リラックスした信政が、黒い拵えの刀を脇に置いて、というものです。それが一番信政に近いかもしれません。高齢になってからの信政です。

議長 最後に、市立博物館との住み分けですが、「お殿様たちのくらし」展は市立博物館でもできる内容で、今までもやったことがある展示だと思えますが、市立博物館との違いが難しいと思います。あともう一つ、学芸員が2人いて、資料の整理が日常的に行われているわけですが、その中で、企画展示業務も行うということは、非常に多忙になるはずですが、歴史館資料をどう活用するかということにおいては、資料整理が一番大事です。年間4本立てでいくのは良いですが、常設展を見に来る人もいます。学芸員が資料整理や調査研究に時間をとれるようにしていかないと続かないと思います。イベントも大変多いと思いますので、あまり学芸員に負担を強いることのないように、館長に配慮していただきたいと思います。さらに来年度図録を作るということだと、時間が足りなくなるのは目に見えています。写真撮影や解説文執筆は大変な作業になります。図録は、一度作ればしばらく作れないと思いますので、きちんと時間を割いて作ってもらいたいと思います。

それでは、これで（2）平成31年度事業計画については終了します。
（3）その他について何かありますか。

小嶋委員 高岡集落の雪は大変で、車も通れない状況になります。除雪・排雪が必要です。

葛西委員 観覧客の安全を確保していただきたいと思います。

議長 多くの貴重な意見が出ました。参考にしていただきたいと思います。これで審議を終了いたします。